



(独自に、またはおそらく独自に
文字を発達させたと思われる)

1. シュメール
2. 中米
- ? 3. 中国
- ?? 4. エジプト

(音節文字)

6. クレタ(線文字A, B)
12. 日本(カナ)
16. チェロキー

(アルファベット)

9. 西セム, フェニキア
10. エチオピア
11. 朝鮮半島(ハングル)
13. イタリア(ローマ, エトルリア)
14. ギリシア
15. アイルランド(オガム)

(その他)

5. 原エラム
7. ヒッタイト
8. インダス渓谷
17. イースター島

図12-1 世界の文字 (この章でとりあげている地域)

中国とエジプトにつけられた疑問符(?)は、まったく独自に文字を誕生させたのか、他の地域での文字の使用に触発されて文字が作られたのかが完全にははっきりしていないことを示している。「その他」とは、アルファベットでも音節文字でもなく、おそらくもっと初期の文字の影響のもとに誕生したと思われる文字である。

图12-2

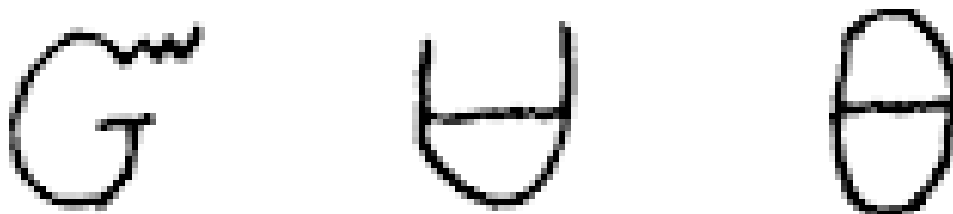


图12-3



图12-4



图12-5



図12-6

D _a	R _e	T _i	ᄒ _o	ᄒ _u	i _v
ᄎ _{ga} ᄒ _{ka}	ᄎ _{ge}	ᄎ _{gi}	A _{go}	J _{gu}	E _{gv}
ᄎ _{ha}	ᄎ _{he}	ᄎ _{hi}	F _{ho}	ᄎ _{hu}	ᄎ _{hv}
W _{la}	ᄎ _{le}	ᄎ _{li}	G _{lo}	M _{lu}	A _{lv}
ᄎ _{ma}	A _{me}	H _{mi}	ᄎ _{mo}	ᄎ _{mu}	
ᄎ _{na} ᄎ _{hna} G _{nah}	ᄎ _{ne}	ᄎ _{ni}	Z _{no}	A _{nu}	ᄎ _{nv}
T _{qua}	ᄎ _{que}	ᄎ _{qui}	ᄎ _{quo}	ᄎ _{quu}	E _{quv}
U _{sa} ᄎ _s	ᄎ _{se}	B _{si}	ᄎ _{so}	ᄎ _{su}	R _{sv}
L _{da} W _{ta}	ᄎ _{de} ᄎ _{te}	A _{di} A _{ti}	V _{do}	S _{du}	ᄎ _{dv}
ᄎ _{dla} L _{tla}	L _{tle}	C _{tli}	ᄎ _{tlo}	ᄎ _{tlu}	P _{tlv}
G _{tsa}	ᄎ _{tse}	ᄎ _{tsi}	K _{tso}	ᄎ _{tsu}	C _{tsv}
G _{wa}	ᄎ _{we}	ᄎ _{wi}	ᄎ _{wo}	ᄎ _{wu}	G _{wv}
ᄎ _{ya}	B _{ye}	ᄎ _{yi}	ᄎ _{yo}	G _{yu}	B _{yv}

セコイヤが考案したチェロキー語の音節文字

Courtesy of V.I.P. Publishing.

表13-1 大陸の人口

大陸	1990年の総人口	面積＝平方マイル
北アフリカをふくむユーラシア大陸	4,120,000,000	24,200,000
(ユーラシア)	(4,000,000,000)	(21,500,000)
(北アフリカ)	(120,000,000)	(2,700,000)
南北アメリカ大陸	736,000,000	16,400,000
サハラ以南のアフリカ	535,000,000	9,100,000
オーストラリア大陸	18,000,000	3,000,000

表14-1 社会の種類

	小規模 血縁集団	部族社会	首長社会 (首長の統治 する社会)	国家
【構成面】				
総人口	数十人	数百人	数千人	5万人以上
生活様式	移動生活	定住生活 (村落数は1)	定住生活 (村落数は 1または複数)	定住生活 (多数の村落と 都市)
基本的関係	血縁集団	血縁集団の 集合体	階級化された 地域集団	階級化された 地域集団
人種数・言語数	1	1	1	1または複数
【政治面】				
意思決定・ リーダーシップ	平等	平等または ビッグ・マン	集権的・ 世襲的	集権的
官僚システム	なし	なし	なし・ 1～2階層	多階層
権力や情報の独占	なし	なし	あり	あり
諍いの解決	非公式	非公式	首長	法律・裁判
中心地の有無	なし	なし	なし→ 最高位の村落	首都
【宗教面】				
支配階級の正当化	なし	なし	あり	あり→なし
【経済面】				
食料生産	なし	なし→あり	あり→集約的	集約的
労働の分化	なし	なし	なし→あり	あり
取引	交換	交換	再分配(捧げ物)	再分配(税)
土地の所有者・ 管理者	血縁集団	氏族	首長	多様
【社会面】				
階級分化	なし	なし	あり(血縁者による 支配階級)	あり(血縁関係は 問題とならず)
奴隷制	なし	なし	小規模	大規模
エリートによる贅 沢品の所有・使用	なし	なし	あり	あり
公共建造物	なし	なし	なし→あり	あり
固有の文字	なし	なし	なし	多い

矢印(→)は、社会の複雑性によって属性が異なることを示す。



図15-1 東南アジア・オーストラリア・ニューギニア周辺部の海岸線

実線は現在の海岸線を示す。破線は海面が現在よりも低かった頃の、更新世時代の海岸線を示す。つまり、アジア大陸の陸棚と大オーストラリアの陸棚の海岸線である。当時、ニューギニアとオーストラリアはひとつの大陸を形成していた。ボルネオ、ジャワ、スマトラ、台湾はアジア本土と陸続きになっていて、ひとつの大陸を形成していた。

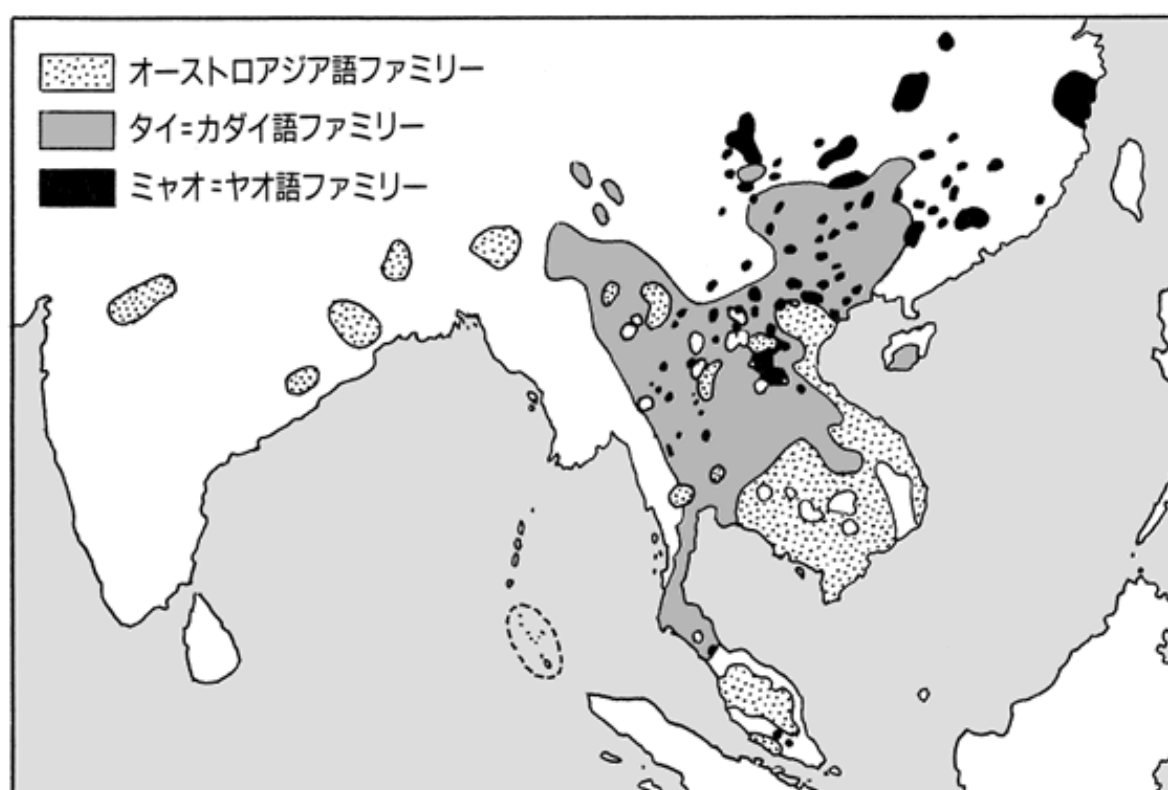


図16-1 中国・東南アジアに分布している4つの言語ファミリー

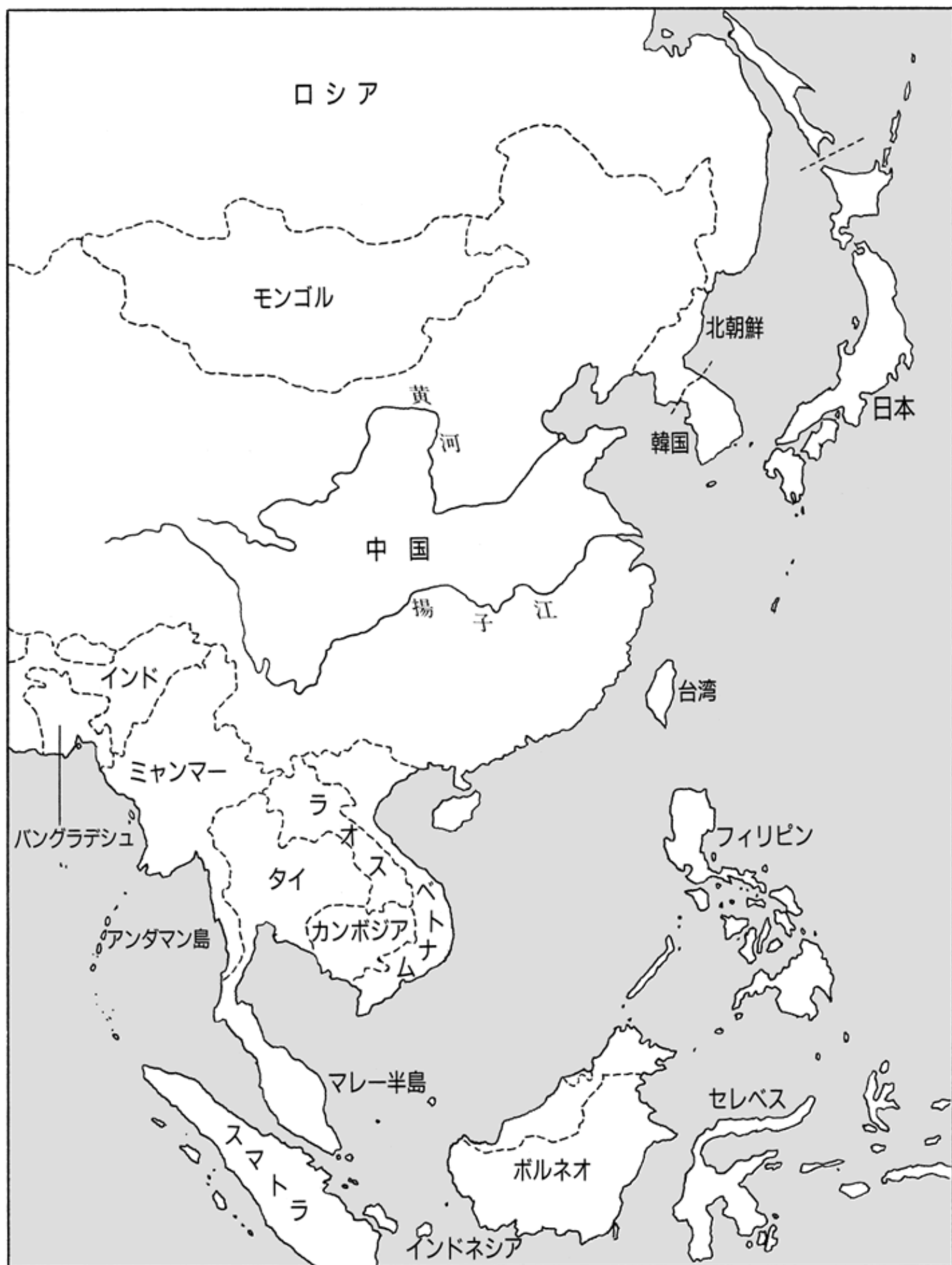


図16-2 現代の東アジア・東南アジアの政治的境界線

(図16-1 に示された言語ファミリーの分布状況の解釈のための参考資料)

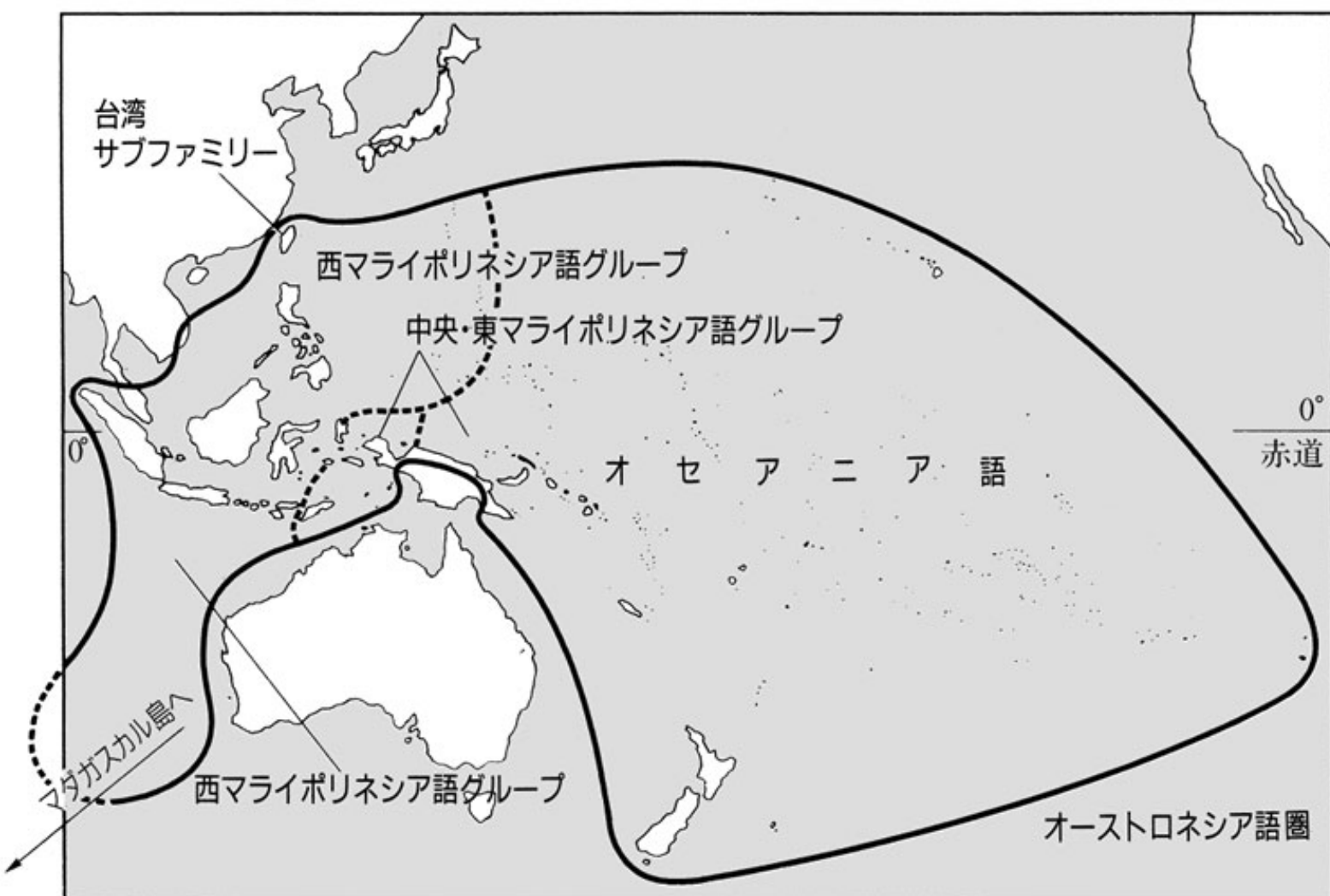


図17-1

オーストロネシア語ファミリーは4つのグループに大別される。そのうちの3つは台湾にだけ分布し、残り1つ（マライポリネシア語グループ）は広範に分布している。後者の語派はさらに西マライポリネシア語グループと中央・東マライポリネシア語グループの2つに大別される。そのうち中央・東マライポリネシア語グループは、さらに下位の4つのグループに大別され、それらのなかでもっとも広範に分布しているオセアニア語の使用地域は、東方の太平洋上の島々をふくむ範囲にまで広がっている。その他の3つは西方に広がっていて、ハルマヘラ島、東インドネシア沿岸部の海域の島々、そしてニューギニア島最西端の地域などをふくむ狭い範囲で使用されている。



図18-1 古代スカンジナビア人のノルウェーからの拡散

数字は、それぞれの地域に到達したと思われるおおよその年代を示している。

表18-1 ユーラシア大陸および南北アメリカ大陸の歴史

おおよその 登場年代	ユーラシア大陸		
	肥沃三日月地帯	中国	イングランド
植物の栽培化	紀元前8500年	紀元前7500年以前	紀元前3500年
動物の家畜化	紀元前8000年	紀元前7500年以前	紀元前3500年
土器	紀元前7000年	紀元前7500年以前	紀元前3500年
村落	紀元前9000年	紀元前7500年以前	紀元前3000年
首長社会	紀元前5500年	紀元前4000年	紀元前2500年
金属器や銅器／ 青銅器の普及	紀元前4000年	紀元前2000年	紀元前2000年
国家	紀元前3700年	紀元前2000年	西暦500年
文字	紀元前3200年	紀元前1300年以前	西暦43年
鉄器の普及	紀元前900年	紀元前500年	紀元前650年

この表は、ユーラシア大陸の3つの地域および南北アメリカ大陸の4つの地域で、さまざまな技術が登場し普及した、おおよその年代を示すものである。犬は両大陸において食料生産がはじまる以前にすでに飼育化されており、この表では考慮の対象外とした。首長社会については、階級分化を示すさまざまな形態の墓などの考古学的証拠や、大型建造物や多様な居住パターンの出現年代をもとに推定した。なお、詳細については本文を参照されたい。

南北アメリカ大陸

アンデス	アマゾン川流域	中央アメリカ	合衆国東部
紀元前3000年以前	紀元前3000年	紀元前3000年以前	紀元前2500年
紀元前3500年	?	紀元前500年	――
紀元前3100-1800年	紀元前6000年	紀元前1500年	紀元前2500年
紀元前3100-1800年	紀元前6000年	紀元前1500年	紀元前500年
紀元前1500年以前	西暦1年	紀元前1500年	紀元前200年
西暦1000年	――	――	――
西暦1年	――	紀元前300年	――
――	――	紀元前600年	――
――	――	――	――

表18-2 ユーラシア大陸における言語の拡散

推定年代	言語ファミリー／言語	拡散経路	究極の要因
紀元前6000年または紀元前4000年	インド＝ヨーロッパ語	ウクライナ／アナトリア→ヨーロッパ、中央アジア、インド	食料生産、馬を主とする牧畜
紀元前6000年から紀元前2000年	エラム＝ドラヴィダ語	イラン→インド	食料生産
紀元前4000年から現在	シナ＝チベット語	チベット高原、中国北部→中国南部、熱帯東南アジア	食料生産
紀元前3000年から紀元前1000年	オーストロネシア語	中国南部→インドネシア、太平洋諸島	食料生産
紀元前3000年から西暦1000年	バンツー語	ナイジェリアやカメルーン→アフリカ南部	食料生産
紀元前3000年から西暦1年	オーストロアジア語	中国南部→熱帯東南アジア、インド	食料生産
紀元前1000年から西暦1500年	タイ＝カダイ語、ミャオ＝ヤオ語	中国南部→熱帯東南アジア	食料生産
西暦892年	ハンガリー語	ウラル山脈→ハンガリー	馬を主とする牧畜
西暦1000年から西暦1300年	アルタイ語 (モンゴル語、トルコ語)	アジア大草原→ヨーロッパ、トルコ、中国、インド	馬を主とする牧畜
西暦1480年から西暦1638年	ロシア語	ロシア→シベリア	食料生産

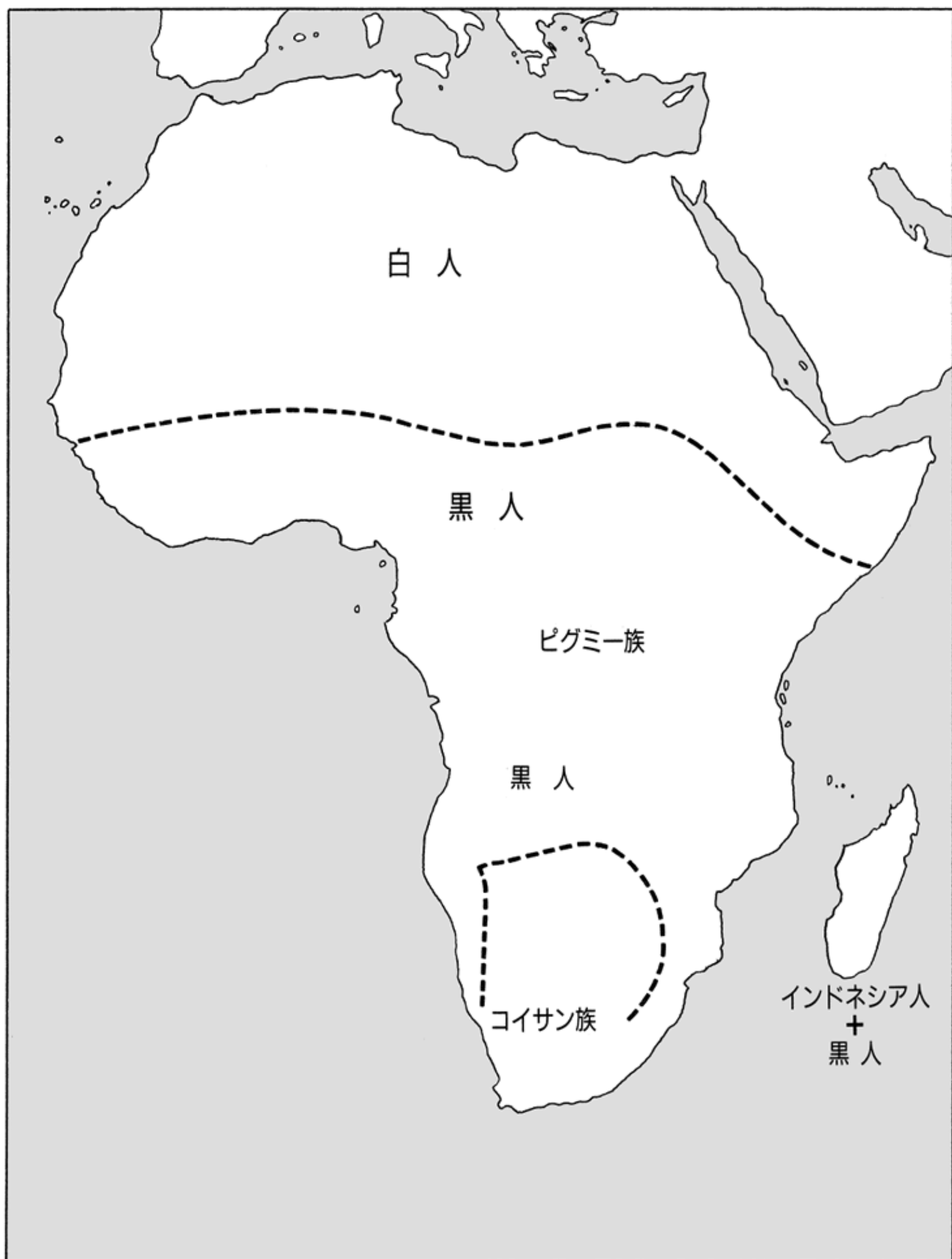


図19-1 西暦1400年当時のアフリカ大陸の五つのグループ

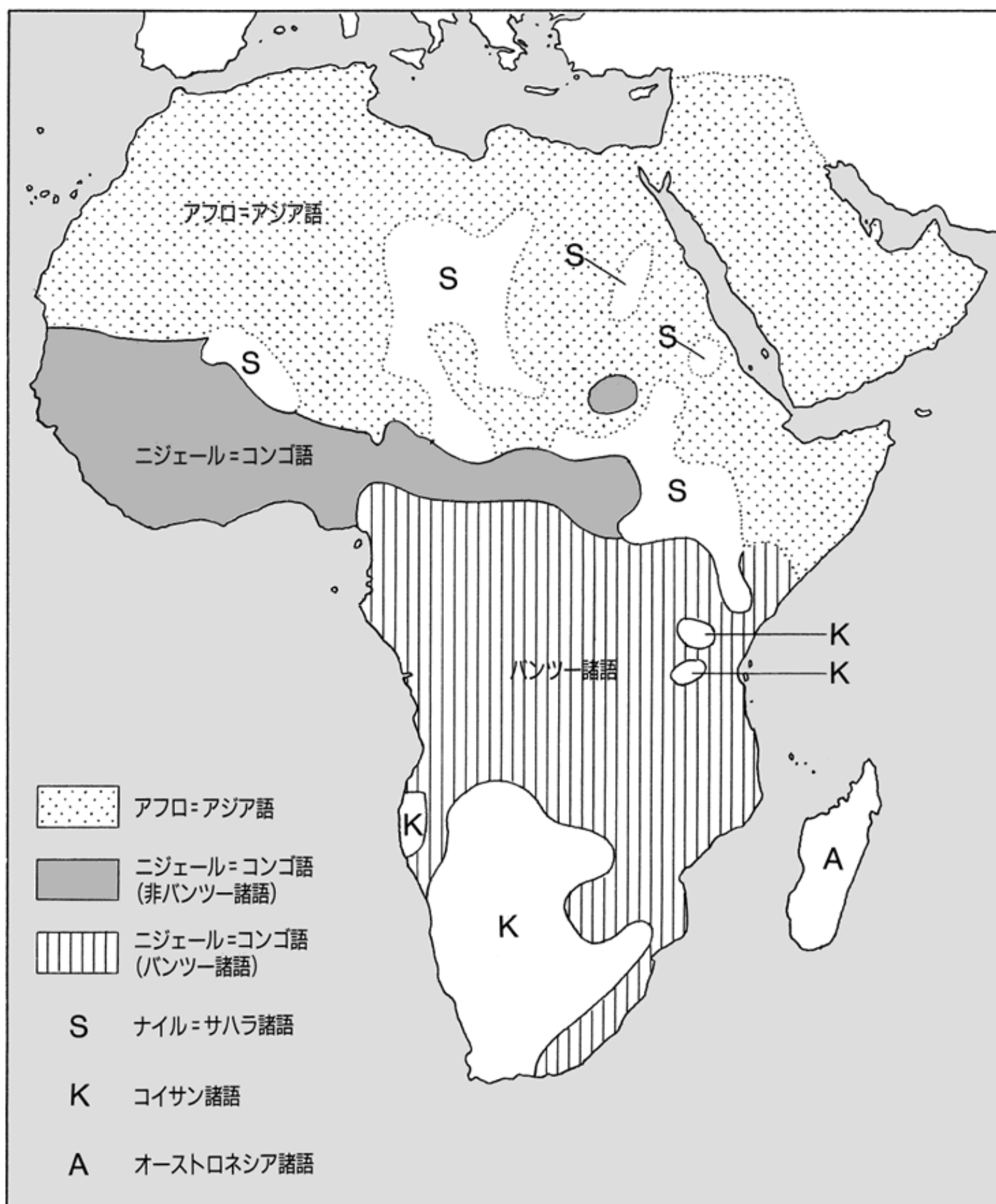


図19-2 アフリカ大陸の言語分布

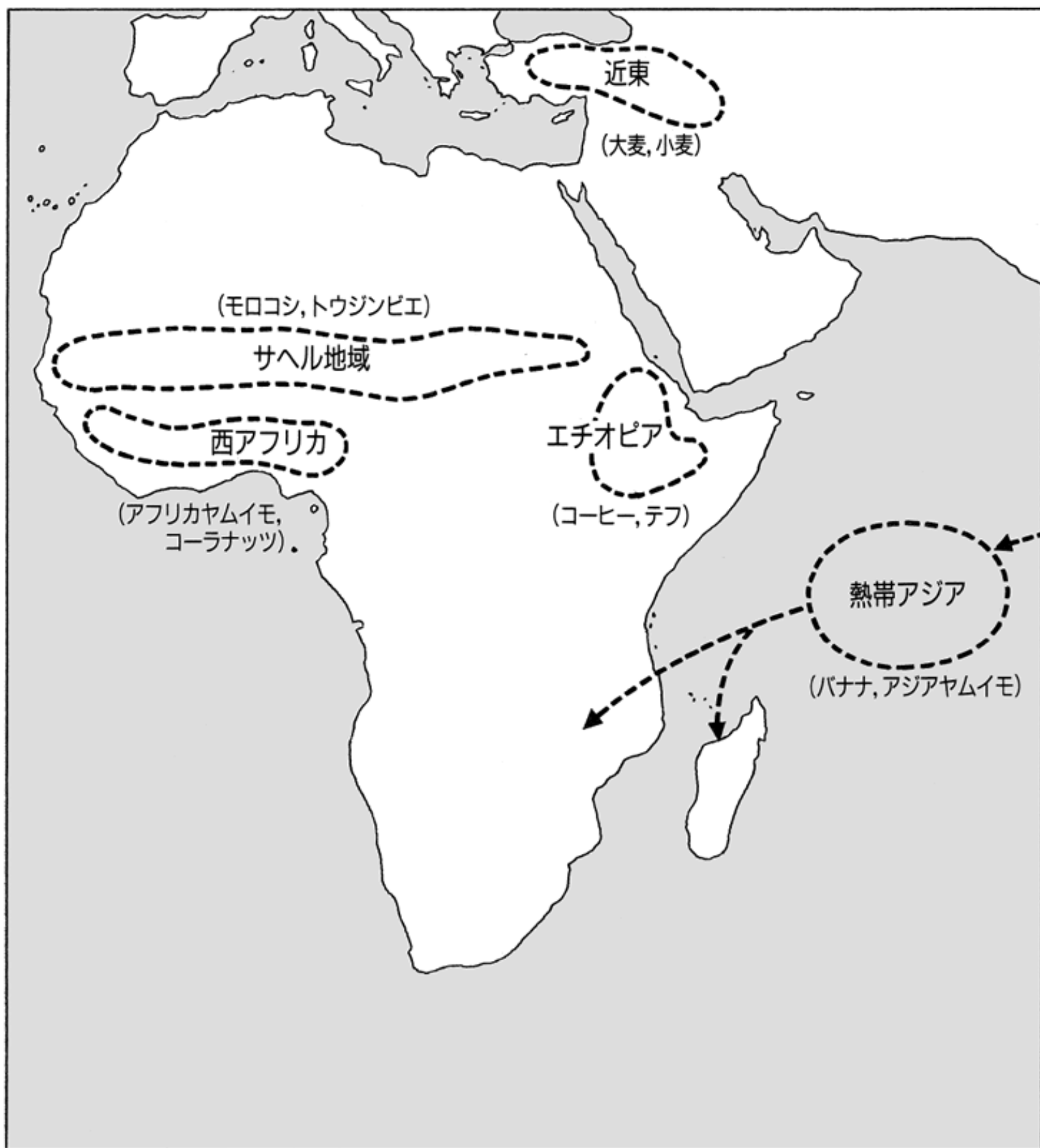


図19-3 アフリカ大陸の農作物の起源

伝統的に（つまり、ヨーロッパ人が入植してくる以前に）アフリカで栽培されていた作物。地域ごとに代表的な2種類の作物が記してある。

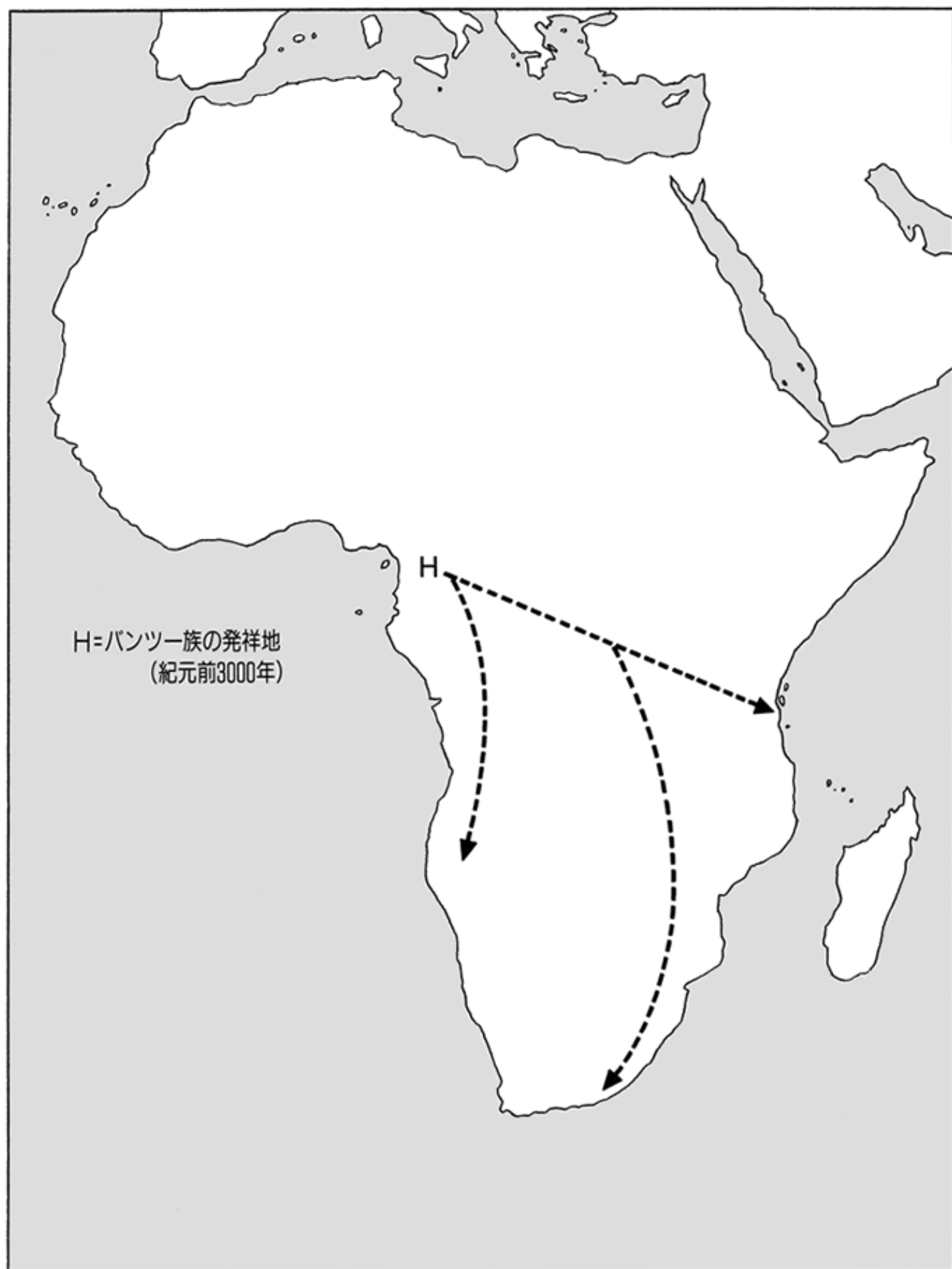


図19-4 バンツー諸語を話す人びとの拡散（紀元前3000年から西暦500年）

バンツー族は、現在、彼らの多くが居住している地域の北西部を発祥地（H）として、紀元前3000年から西暦500年のあいだに、矢印と破線で示す方向に、大陸の東部や南部へと拡散していったと思われる。



500マイル(800km)

図20-1 この2つの図は、中国とヨーロッパの海岸線を同縮尺で示している。ヨーロッパは、中国にくらべて、海岸線の出入りが激しい。半島も多い。また大きな島も2つある。